

HP Cloud Service Automation

リリースノート

ソフトウェアバージョン: 4.10、2014年7月

このリリースノートでは、HP Cloud Service Automation (HP CSA) のこのリリースで行われた変更内容について、マニュアルやオンラインヘルプには記載されていない重要な項目を説明します。

本バージョン

HP Cloud Service Automation (HP CSA) は、クラウドコンピューティング環境において、自動化されたサービスの提供および管理を目的にした HP 製品を統合するソフトウェアです。統合製品の詳細については、『HP Cloud Service Automation Solution and Software Support Matrix』を参照してください。

HP Cloud Service Automation 環境が優れたパフォーマンスと安定性を発揮できるように、次のタスクを完了してからインストールを開始してください。

- 各コンポーネント製品でサポートされるハードウェアとソフトウェアが、インストールの最小要件を満たしていることを確認します。
- 関連パッチとパッチリリースのホットフィックスが、コンポーネント製品に適用済みであることを確認します。
- リリースノートで、各コンポーネント製品に追加の変更内容や制限事項がないか確認します。

インストール要件

インストール要件については、『HP Software Cloud Service Automation Solution and Software Support Matrix』を参照してください。HP Cloud Service Automation のインストールと構成の手順については、『HP Cloud Service Automation インストールガイド』を参照してください。

ドキュメント

HP CSAのドキュメントは、[HPソフトウェア製品マニュアルWebサイト](#)にあります。

目次

本リリースでの修正	5
HP Cloud Service Automation (HP CSA)	5
ソリューション全般	5
HP CSA 4.01 では、事前定義ユーザーの構成はID管理コンポーネントに移動されました	5
『HP CSA Configuration Guide』(4.00) に示されているcdainboundUserのパスワードが正しくない	5
次のフローに関するサブスクリプション要求が失敗する:Update SA Server Id on CSA OO	5
プロビジョニングの完了後、トポロジデザインで、共有ボリュームグループが1つのサーバーグループにしかアタッチされない	5
CAC対応環境でクラウドサービス管理コンソールまたはマーケットプレイスポータルにログインすると、「Webpage not available」 というメッセージが表示される	5
インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール	5
Linuxインストーラーがデータベースコンポーネントクエリのインストールの際に無効な応答を受け付ける	5
Linuxでデフォルト以外の場所にインストールされたHP CSA を 4.01 にアップグレードしようとすると例外が発生する	6
クラウドサービス管理コンソール	6
キャンセルされて削除されたサブスクリプションで使用されていたコンポーネントタイプを削除できない	6
コンテンツアーカイブツールでインポートされたトポロジデザインを持つサービス提供がクラウドサービス管理コンソールに 表示されない	6
トポロジデザインでセキュリティグループが重複する問題	6
クラウドサービス管理コンソールの [カタログ] 領域で承認アクションを管理できない	6
サービス提供を [提供] 領域から発行した後、その承認ポリシーを [承認が不要] に変更しても、承認を要求される	7
トポロジデザインを表示してからデザインのリストに戻ると、デザインが表示されない	7
「内部サーバーエラーです。システム管理者に連絡してください」というメッセージが5分おきにログに記録される	7
サービス提供アーカイブのインポート中にエラーが発生する	7
サービス提供の作成後にトポロジデザインを変更すると、変更内容がサービス提供に反映されない	7
マーケットプレイスポータル	7
シングルサインオンが構成されている場合に、以前に成功したブラウザーセッションからマーケットプレイスポータルページに アクセスすると、資格情報の再入力が必要になる	7
シングルサインオンを使用してマーケットプレイスポータルにログインする場合、起動ページが表示されないようにする必要 がある	7
キャンセルしたサブスクリプションを削除すると、サブスクリプションのキャンセル要求が発生する	8
サブスクリプションの単一選択リストプロパティが必須フィールドであっても、ユーザーはサブスクリプションを変更してその リストプロパティの値を空にできる	8
5MBより大きい添付ドキュメントを持つサブスクリプションの送信が失敗する	8
マーケットプレイスポータルのファイルシステムはオペレーティングシステムによって保護される必要がある	8
マーケットプレイスポータルで、ボリューム名の入力プロパティのラベルが正しく表示されない	8
[サービストポロジの表示] ページで、サブスクライバーには非表示にするべきプロパティが表示される	8
サブスクライバーオプションの [リストプロパティ] をクラウドサービス管理コンソールで無効にしても、マーケットプレイス ポータルで有効になる	8
オーダー時にショッピングカートから添付したドキュメントが [承認要求] 詳細ページに表示されない	9
マーケットプレイスポータルで表示される最小値/最大値チェックのメッセージに誤りがある	9
マーケットプレイスポータルでは、サブスクライバーの通知がローカライズされていない	9
クラスター環境	9
Linux用の『Configuring an HP CSA Cluster for Server Failover』ガイドで、「Share Filesystem Resource」セクションを更新する必要 がある	9
マーケットプレイスポータルに要求をリダイレクトするURLを構成ツールが更新しない	9
構成ツールがApache HTTPプロキシサーバー証明書をインポートしないことがある	9
クラスター環境でのアップグレードの際に、アップグレードインストーラーがスタンドアロン環境用の構成ファイルに定義された JAVA_HOME変数を使用する	9
HP CSAとの統合	10
HP ArcSight Logger	10
HP ArcSightとHP Operations Orchestration (HP OO) 10.xを統合できない	10
HP Helion OpenStack®	10
トポロジデザインの更新の際にHP Helion OpenStack®リソースプールを選択解除できる	10
HP Cloud OSバージョン 1.2を使用する際に、デプロイ済みのサービスのボリュームグループの最大および最小インスタンス数が 表示されない	10
HP SiteScope (HP SiS)	11
サービスデザインMOE_COMPUTE_SITESCOPE_UCMDB 3.20のサブスクリプションをキャンセルしても、HP Operations Orchestrationで一部のHP SiteScopeモニターが削除されない	11
HP Operations Orchestration	11
リソース同期アクションを実行するとHP OOでエラーメッセージが表示される	11
VMware vCenter	11
vCenterサービスデザインで、2つのライフサイクルアクションが同時に実行される	11

既知の問題、制限事項、回避方法	12
HP Cloud Service Automation (HP CSA)	12
ソリューション全般	12
FIPSモードで、HP CSAが起動せず、ログファイルにNoSuchAlgorithmExceptionが記録される	12
Linuxでプロセス定義ツールを実行すると警告が発生する	12
HP CSAのパフォーマンスが時間とともに低下する	12
コンテンツアーカイブツールでカタログをインポートすると、プロセスがハングする	12
インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール	13
HP CSAインストール内にマウントされたファイルシステムがある場合、Linux環境でのアップグレードが失敗する	13
HP CSAインストール内で開かれているファイルがあるとアップグレードが失敗する	13
WindowsシステムでHP CSAのインストールがハングする	13
インストールディレクトリに特殊文字が含まれる場合、HP CSAのインストールが完了しない	13
HP CSA 3.20からHP CSA 4.00またはそれ以降にアップグレードした後で、同じ名前の2つのHP DMAプロバイダタイプが表示される	14
マーケットプレイスポータルだけをインストールする場合に、HP CSA証明書が検証されない	14
インストール後にHP CSAサービスを手動で開始すると、HP CSAアプリケーションが正しくデプロイされない	14
Linux上のHA環境でシングルサインオンが構成されている場合、クラウドサービス管理コンソールが正しく起動しない	14
クラウドサービス管理コンソール	15
Chromeで、一部の管理コンソール領域にあるSWFコンテンツが、その部分にユーザーが移動するたびに再ロードされる	15
Firefoxで[システムのプロキシ設定を利用する]を選択した場合に発生する通信エラー	15
IEでセキュリティ強化の構成(ESC)を有効にすると、クラウドサービス管理コンソールが正しく表示されないかまたは動作しなくなる	15
Ubuntuでブラウザを開いてクラウドサービス管理コンソールにアクセスすると、一部の領域で英語以外の文字表示に問題が発生する	16
サービス提供にスクリーンショット画像を添付する際にエラーが発生する	16
クラウドサービス管理コンソールにログインするのに2回の試行が必要	16
トポロジデザインを発行する際にエラーメッセージが表示される	16
HP Helion OpenStack®ベースでないトポロジデザインをカタログに発行しようとするとエラーメッセージが出て失敗する	17
デザインにコンポーネントを追加した後で高速デザインのトポロジのプロビジョニングが失敗する	17
トポロジデザインでコンポーネントプロパティの[変更可能]属性が設定できないはずの場合に設定可能である	17
クラウドサービス管理コンソールでデザインをインポートすると、[処理済み合計アーティファクト数]がレポートにリストされている他のすべての合計より大きくなる	18
シーケンスデザインによって参照するトポロジデザインを削除できない	18
インポートされたトポロジコンポーネントに、必須ではないとマークされた必須のコンポーネントプロパティがある	18
インポートされたトポロジコンポーネントで、複数選択の入力プロパティの値リストが提示されない	18
HP Operations Orchestrationコンテンツパックをインポートすると、内部サーバーエラーが発生する	19
コンポーネントのインポート中に、「要求されたリソースがサーバー上に見つかりません」というエラーメッセージが表示される	19
トポロジデザインのテスト実行機能がすべてのケースで動作しない	19
[カタログ]または[提供]領域にトポロジデザインのアーカイブをインポートすると、プレビューエラーが発生する	20
既存の発行済みトポロジデザインがサービスデザインのインポート中に更新される	20
変更可能な非公開のプロパティ値を含むトポロジデザインに対するプロビジョニングが失敗する	20
同じIDを持つ複数のトポロジコンポーネント関係が作成される場合がある	20
トポロジコンポーネントに対して[名前を付けて保存]ボタンを使用しても、ソートコンポーネント関係が正しく複製されない	21
発行済みのトポロジデザインに関連付けられているサービス提供のインポートで、エラーメッセージが表示される	21
コンポーネント関係を使用するトポロジデザインをインポートすると、失敗するか、正しく機能しないデザインが作成される	21
マーケットプレイスポータル	22
マーケットプレイスポータルで、VMネットワークインタフェースにすでに追加したセキュリティグループを選択できる	22
マーケットプレイスポータルで、VMネットワークインタフェースに追加されていないセキュリティグループを削除できる	22
サブスクリプションをキャンセルした後、マーケットプレイスポータルが応答しなくなる	22
マーケットプレイスポータルの[サーバーグループへのボリュームグループの追加]パブリックアクションが動作する条件に制限がある	23
サブスクリプションを変更する際に、プロファイルが表示されるが選択できない	23
ショッピングカートで構成を編集する際のサービスの動的プロパティが正しく設定されない	23
ショッピングカートに追加したアイテムの構成を変更する際に、間違った価格設定が表示される	23
クラスター環境	23
HA環境にインストールされているマーケットプレイスポータルにログインできない	23
オンラインヘルプ	24
現在1つまたは複数のカタログに公開されているサービス提供を削除できる	24
『インストールガイド』と『Upgrade Guide』	24
生成したPDFの書式の問題	24
HP CSA API	24
プリミティブの値を指定しないと値がデフォルトにリセットされる	24
HP CSAとの統合	25
HP ArcSight Logger	25
HP CSA server.logとArcSight Loggerの統合が正しく機能しない	25
HP ArcSight Loggerの構成エントリがlog4j.propertiesにない	25

パブリックアクション [サーバーグループへのサーバーの追加] が使用できない.....	26
トポロジデザインのプロファイルのプロパティ値とリソースプールが予期したとおりに動作しない場合がある.....	26
HP Helion OpenStack®でインスタンスを終了しても、HP CSAマーケットプレイスポータルやクラウドサービス管理コンソールに 反映されない.....	26
トポロジの高速デザインオプションを使用している場合に、HP Helion OpenStack®セキュリティグループを作成できない.....	26
トポロジの高速デザインオプションを使用している場合に、HP Helion OpenStack®ルーターを作成できない.....	27
HP Helion OpenStack®ベースのトポロジデザインに正常にサブスクライブできない.....	27
HP Helion OpenStack®トポロジベースのサブスクリプションが、ユーザーへのエラーメッセージなしで失敗する.....	27
[名前を付けて保存] ボタンがHP Helion OpenStack®コンポーネントに対して動作しない.....	28
HP Matrix Operating Environment (HP MOE).....	28
HP MOEサブスクリプションが "No server pools are available to user" というエラーで失敗する.....	28
HP Operations Orchestration (HP OO).....	28
HP Cloud Service (HP CS) – OPENSTACKサービスのサブスクリプションが失敗し、状態が [保留中] と表示される.....	28
トポロジデザインを削除した場合、関連するHP Operations Orchestrationフローが削除されない.....	28
HP Operations Orchestration Centralでプロバイダーの資格情報がクリアテキストで表示される.....	29
HP Operations Orchestration Centralで、非公開のコンポーネントプロパティがクリアテキストで表示される.....	29
HP Operations Orchestration Studioで、[結果] フィールドに関するエラーが報告される.....	29
HP OOフローからインポートされたトポロジコンポーネントの [デプロイ中] 状態が [デプロイ済み] に更新されない.....	29
インポートされたHP OOフローのパラメーターマッピングで、パブリックアクションの入力プロパティが有効にならない.....	30
HP CSAコンテンツをHP Operations Orchestrationにインポートした後にエラーが発生する.....	30
VMware vCenter.....	31
vCenterサーバーのトポロジコンポーネントのprivateKeyプロパティの値がクリアテキストで表示される.....	31
vCenterサーバーコンポーネント上の [Flex CPU] パブリックアクションがハングする.....	31

本リリースでの修正

本リリースでの修正

HP Cloud Service Automation (HP CSA)

ソリューション全般

HP CSA 4.01 では、事前定義ユーザーの構成はID管理コンポーネントに移動されました

QCCR1D182209

問題

『HP CSA Configuration Guide』 (4.00) では、事前定義ユーザーadmin、csaReportingUser、cdaInboundUser、ooInboundUserの構成はapplicationContext-security.xml および csa.properties で行われると記載されています。

『HP CSA Configuration Guide』 (4.00) に示されているcdaInboundUserのパスワードが正しくない

QCCR1D182210

問題

『HP CSA Configuration Guide』 (4.00) では cdaInboundUser のパスワードが cloud と記されています。

次のフローに関するサブスクリプション要求が失敗する: Update SA Server Id on CSA OO

QCCR1D177545

問題

「Update SA Server Id on CSA」OO フローは、HP OO 10.x で実行すると成功しますが、成功したことを HP CSA で認識できないことがあります。これが原因で、フローを呼び出すアクションが 1 時間後にタイムアウトし、このアクションに関するサブスクリプション要求が失敗します。この問題が発生するのは、サービスデザイン VCENTER_COMPUTE_SA_SOFTWARE_POLICIES_3.20 と、HP ADM または HP DMA に関連するサービスデザインです。

プロビジョニングの完了後、トポロジデザインで、共有ボリュームグループが1つのサーバーグループにしかアタッチされない

QCCR1D176960

問題

単一のボリュームグループに複数のサーバーグループを接続し、これを含むトポロジデザインでサービスインスタンスのプロビジョニングを行うと、プロビジョニングの完了後、ボリュームグループは1つのサービスグループのみにアタッチされます。

CAC対応環境でクラウドサービス管理コンソールまたはマーケットプレイスポータルにログインすると、「Webpage not available」というメッセージが表示される

QCCR1D177398

問題

CAC 対応環境でクラウドサービス管理コンソールまたはマーケットプレイスポータルにログインしようとする、「Webpage not available」というメッセージが表示されます。このメッセージが表示されるのは、証明書をブラウザに登録した状態で、カードリーダーにカードが挿入されていない場合です。カードの挿入を指示するプロンプトが表示され、PIN の入力が必要になります。指示に従うと UI が表示されるはずですが、UI は表示されず「Webpage not available」というメッセージが表示されます。

インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール

Linuxインストーラーがデータベースコンポーネントクエリのインストールの際に無効な応答を受け付ける

QCCR1D181784

問題

HP CSA 4.0x を Linux にインストールする際に、Do you want to install database components? (yes/no) の質問に対して、標準以外の応答 ("yes" または "no" 以外) が受け付けられます。“yes”または“YES”以外の応答はすべて否定と解釈され、データベースコンポーネントはインストールされません。

本リリースでの修正

Linuxでデフォルト以外の場所にインストールされたHP CSAを4.01にアップグレードしようとするると例外が発生する

QCCR1D181314

問題

HP CSA 4.00 が Linux 上でデフォルト以外の場所にインストールされている場合、HP CSA 4.01 へのアップグレードインストーラーを実行すると、次の例外が発生します。

```
1. java.io.FileNotFoundException: /usr/local/hp/csa/jboss-as-7.1.1.Final/bin/standalone.conf (No such file or directory) at java.io.FileInputStream.open(Native Method)
```

クラウドサービス管理コンソール

キャンセルされて削除されたサブスクリプションで使用されていたコンポーネントタイプを削除できない

QCCR1D180505

問題

以下の条件が満たされる場合、カスタムサービスコンポーネントタイプおよびコンポーネントパレットをクラウドサービス管理コンソールの [サービスコンポーネント] タイルから削除できません。

1. カスタムサービスコンポーネントタイプから派生したサービスコンポーネントテンプレートを使用して、サービスデザインを作成します。これらのカスタムサービスコンポーネントタイプは、HP CSA コンポーネントパレットとカスタムコンポーネントパレットのどちらにも存在してきません。
2. サービスデザインをサービス提供として発行し、サービス提供をカタログに発行することにより、これらのサービスデザインに対するサービスサブスクリプションを作成します。
3. サービスサブスクリプションをキャンセルして削除します。
4. 上記で作成したサービスデザインを使用したサービス提供をカタログから発行解除し、サービス提供を削除します。
5. サービスデザインを削除します。

コンテンツアーカイブツールでインポートされたトポロジデザインを持つサービス提供がクラウドサービス管理コンソールに表示されない

QCCR1D181337

問題

トポロジデザインを持つサービス提供を、コンテンツアーカイブツールの `-f` または `--updatePreserveExisting` オプションを使用してインポートした場合、サービス提供はクラウドサービス管理コンソールに表示できません。ただし、トポロジデザインは正常にインポートされます。

トポロジデザインでセキュリティグループが重複する問題

QCCR1D178056

問題

クラウドサービス管理コンソールでトポロジデザインを作成するときに、ネットワークセグメントとサーバーグループが存在し、さらにその 2 つが接続されている場合、[ネットワークインタフェース] の接続に使用するセキュリティグループを選択するプロンプトが表示されます。HP Helion OpenStack®内の複数のプロジェクトに同名のセキュリティグループが存在する場合、[セキュリティグループ] ドロップダウンリストには、既存のセキュリティグループが重複して表示されます。この状態で重複したセキュリティグループの 1 つを選択しても、そのセキュリティグループがどの HP Helion OpenStack®プロジェクトに関連付けられているのかは不明です。HP CSA で HP Helion OpenStack®リソースプロバイダーに設定されているプロジェクト (リソースプロバイダーのテナントプロパティで指定) とは別のプロジェクトのセキュリティグループを選択してしまうと、サービスのデプロイメントは失敗します。

クラウドサービス管理コンソールの [カタログ] 領域で承認アクションを管理できない

QCCR1D178174

問題

クラウドサービス管理コンソールでサービス提供を発行する際、[カタログ] 領域と [提供] 領域で異なるレベルの承認設定が存在します。[提供] 領域では、[オーダー]、[変更]、[キャンセル] の各アクションについて、どのアクションに承認が必要かを設定できます (承認を設定した場合)。[カタログ] 領域にはこの設定はなく、[カタログ] 領域から発行された提供については、[オーダー] と [変更] で承認が必要になりますが、[キャンセル] では不要になります (設定済みの場合)。さらに、[提供] 領域では、関連付けられているデザインのパブリックアクションの中で承認が必要なものを設定できます。この設定は [カタログ] 領域にはなく、[カタログ] 領域から発行した提供のパブリックアクションは承認を必要としません。[提供] 領域から発行する際に、承認が必要なアクションを選択しても、[カタログ] 領域では表示されず、編集もできません。

本リリースでの修正

サービス提供を [提供] 領域から発行した後、その承認ポリシーを [承認が不要] に変更しても、承認を要求される

QCCR1D178192

問題

クラウドサービス管理コンソールのカタログで**アクティブ**な承認プロセスと承認ポリシーが指定されている状態で、ユーザーが [提供] 領域からこのカタログにサービス提供を発行し、承認ポリシーを [承認が不要] に変更しても、変更要求に承認が必要なままになります。

トポロジデザインを表示してからデザインのリストに戻ると、デザインが表示されない

QCCR1D181770

問題

タグを選択してトポロジデザインを表示した後でトポロジデザインのリストに戻ると、デザインが表示されません。

「内部サーバーエラーです。システム管理者に連絡してください」というメッセージが5分おきにログに記録される

QCCR1D182005

問題

次の情報メッセージが5分おきにログに記録され、ディスクスペースを圧迫することがあります。

WARN TopologyMetamodelProviderImpl : 内部サーバーエラーです。システム管理者に連絡してください。

サービス提供アーカイブのインポート中にエラーが発生する

QCCR1D181093

問題

シーケンスデザインの提供をインポートする際に、シーケンスデザインに代理トポロジコンポーネントが含まれていると、次のエラーが発生する場合があります:"既存のサービスデザインに、インポートしようとしているオプションモデルと一致しないオプションモデルを持つアクティブなサービス提供があります。"

修正

この問題は、クラウドサービス管理コンソールヘルプに記載されています。

サービス提供の作成後にトポロジデザインを変更すると、変更内容がサービス提供に反映されない

QCCR1D174068

問題

サービス提供をデザインから作成した後、トポロジデザインに変更を加えると、サービス提供とトポロジデザインが同期しないことがあります。これによってクラウドサービス管理コンソールでエラーが発生し、プロビジョニングでもエラーが発生することがあります。

修正

トポロジデザインは、サービス提供で使用する前に発行することが必要になりました。発行済みのトポロジデザインは変更できません。

マーケットプレイスポータル

シングルサインオンが構成されている場合に、以前に成功したブラウザーセッションからマーケットプレイスポータルページにアクセスすると、資格情報の再入力が必要になる

QCCR1D180630

問題

場合によっては、マーケットプレイスポータルにログインする際にシングルサインオンのプロンプトが複数回表示されることがあります。

シングルサインオンを使用してマーケットプレイスポータルにログインする場合、起動ページが表示されないようにする必要がある

QCCR1D180818

問題

シングルサインオンセッション中にマーケットプレイスポータルにアクセスする場合、ユーザーは起動ページに導かれ、そこにあるボタンをクリックすることでマーケットプレイスポータルダッシュボードに移動できます。デフォルトでは、このボタンには [ログイン] というラベルが付いています。認証はすでにシングルサインオンのログインプロンプトで完了しているので、これは混乱を招きます。この混乱を避けるため、ボタンのラベルを %CSA_HOME%/portal/node_modules/mpp-

本リリースでの修正

ui/dist/locales/{locale}/rb.json ファイルで変更できます。ファイルの場所は、使用するロケールによって異なります。英語の場合、ファイルは%CSA_HOME%/portal/node_modules/mpp-ui/dist/locales/en/rb.json です。

キャンセルしたサブスクリプションを削除すると、サブスクリプションのキャンセル要求が発生する

QCCR1D181771

問題

キャンセルしたサブスクリプションをユーザーが削除すると、重複したサブスクリプションのキャンセル要求が [要求] タイルに表示されます。

サブスクリプションの単一選択リストプロパティが必須フィールドであっても、ユーザーはサブスクリプションを変更してそのリストプロパティの値を空にできる

QCCR1D181903

問題

マーケットプレイスポータルでサブスクリプションを変更する場合、ユーザーは必須フィールドに空の値を指定できます (フィールドが単一選択リストプロパティの場合)。

5MBより大きい添付ドキュメントを持つサブスクリプションの送信が失敗する

QCCR1D182348

問題

添付ドキュメントのサイズが 5MB より大きい場合、サブスクリプションの送信が失敗します。

マーケットプレイスポータルのファイルシステムはオペレーティングシステムによって保護される必要がある

QCCR1D181476

問題

セキュリティ上の理由で、マーケットプレイスポータルのファイルシステムはオペレーティングシステムによって保護される必要があります。

マーケットプレイスポータルで、ボリューム名の入力プロパティのラベルが正しく表示されない

QCCR1D176945

問題

HP Helion OpenStack® トポロジデザインから作成したサービスでは、マーケットプレイスポータルに [サーバーグループへのボリュームグループの追加] アクションが表示されますが、入力パラメーター名にボリューム名ではなくボリューム ID が表示されます。

[サービストポロジの表示] ページで、サブスクライバーには非表示にするべきプロパティが表示される

QCCR1D175828

問題

マーケットプレイスポータルの [サービストポロジの表示] リンクで、サブスクライバーには非表示にするべきトポロジベースのサブスクリプションのプロパティが表示されます。特に self、global_id、resource_pool_ref などのプロパティには、プロビジョニングを行った HP Helion OpenStack® リソースプロバイダーの URL が含まれているので、非表示にする必要があります。

サブスクライバーオプションの [リストプロパティ] をクラウドサービス管理コンソールで無効にしても、マーケットプレイスポータルで有効になる

QCCR1D178237

問題

クラウドサービス管理コンソールの [シーケンスデザイン] 領域でサブスクライバーオプションのリストプロパティ作成するとき、[値の入力方法] が [動的クエリ]、[複数選択] が有効で、かつこのプロパティを必須ではないとマークした場合に、このプロパティがマーケットプレイスポータルのサブスクライバーに対して必須になります。

本リリースでの修正

オーダー時にショッピングカートから添付したドキュメントが [承認要求] 詳細ページに表示されない

QCCR1D182016

問題

オーダー時にショッピングカートから添付したドキュメントが、[ショッピングカート - 承認要求] 詳細ページに表示されません。

マーケットプレイスポータルで表示される最小値/最大値チェックのメッセージに誤りがある

QCCR1D177555

問題

マーケットプレイスポータルでは、チェックアウト、サービスの変更、サービスアクションの実行でさまざまな入力データの検証を行います。整数値とテキスト長の最小値と最大値のチェックもその1つです。入力値が条件 (サービスデザインで設定) を満たしていない場合、ユーザーに誤ったメッセージが表示されます。たとえば、最小値が 10 の場合、次のようなメッセージが通知されます。

Must be greater than 10. (10 より大きな値を指定してください。)

正しいメッセージは次の通りです。

Must be greater than or equal to 10. (10 以上の値を指定してください。)

この問題は、整数値とテキスト長の最大値/最小値に関するメッセージで発生します。

マーケットプレイスポータルでは、サブスクライバーの通知がローカライズされていない

QCCR1D177158

問題

マーケットプレイスポータルでは、サブスクライバーに送信される通知が、クライアントブラウザのロケールに基づいてローカライズされません。

クラスター環境

Linux用の『Configuring an HP CSA Cluster for Server Failover』ガイドで、「Share Filesystem Resource」セクションを更新する必要がある

QCCR1D181152

問題

Linux システムのクラスター環境で、共有ファイルシステムリソースが HP CSA に表示されない場合があります。

マーケットプレイスポータルに要求をリダイレクトするURLを構成ツールが更新しない

QCCR1D181161

問題

構成ツールを実行して、Apache HTTP プロキシサーバーをロードバランサーとして使用する HP CSA マスターまたはスレーブノードを構成する場合、ツールが <CSA_HOME>/jboss-as-7.1.1.Final/domain/servers/hp-cloud/deployments/mpp.war/index.html ファイル内のマーケットプレイスポータルの URL を更新しません。このファイルは、マーケットプレイスポータルに要求をリダイレクトするために使用されます。

構成ツールがApache HTTPプロキシサーバー証明書をインポートしないことがある

QCCR1D181162

問題

Linux 環境で、構成ツールを実行して、Apache HTTP プロキシサーバーをロードバランサーとして使用する HP CSA マスターまたはスレーブノードを構成する場合、ツールが Apache 証明書を HP CSA 信頼ストアにインポートしないことがあります。

クラスター環境でのアップグレードの際に、アップグレードインストーラーがスタンドアロン環境用の構成ファイルに定義されたJAVA_HOME変数を使用する

QCCR1D181134

問題

クラスター環境で HP CSA をアップグレードする際に、アップグレードインストーラーがスタンドアロン環境用の構成ファイルに定義された JRE を使用します。

本リリースでの修正

HP CSAとの統合

HP ArcSight Logger

HP ArcSightとHP Operations Orchestration (HP OO) 10.xを統合できない

QCCR1D176942

問題

HP OO 10.x と HP ArcSight の統合はサポートされていないので、HP CSA-ArcSight の統合ホワイトペーパーで説明されていません。

HP Helion OpenStack®

トポロジデザインの更新の際にHP Helion OpenStack®リソースプールを選択解除できる

QCCR1D181540

問題

HP Helion OpenStack®リソースプールを必要とするトポロジデザインを作成する際に、HP Helion OpenStack®リソースプールを選択解除した後でトポロジデザインを保存して発行することが可能です。その後、リソースプールはクラウドサービス管理コンソールの提供またはマーケットプレイスポータルで選択できません。

次のエラーメッセージがログに記録される: 「ERROR CloudOSPlugin: Failed to get the metamodel from Cloud OS Connection error, status code 401」 または 「WARN TopologyMetamodelProviderCache: Failed to refresh metamodel topology:design-hp_cloud_service-s-8a86183854fa7d2e0494fa7d8af100a」

QCCR1D182079

問題

次のエラーメッセージのどちらかまたは両方がログファイルに記録されます。

```
ERROR CloudOSPlugin: Failed to get the metamodel from Cloud OS Connection error, status code 401 (エラーCloudOSPlugin: クラウド OS 接続エラーによりメタモデルを取得できませんでした、ステータスコード 401)
```

```
WARN TopologyMetamodelProviderCache: Failed to refresh metamodel topology:design-hp_cloud_service-s-8a86183854fa7d2e0494fa7d8af100a (警告 TopologyMetamodelProviderCache: メタモデルトポロジを更新できませんでした:design-hp_cloud_service-s-8a86183854fa7d2e0494fa7d8af100a)
```

HP Cloud OSバージョン 1.2 を使用する際に、デプロイ済みのサービスのボリュームグループの最大および最小インスタンス数が表示されない

QCCR1D180635

問題

HP Cloud OS バージョン 1.2 を使用する際に、デプロイ済みのサービスのボリュームグループの最大インスタンス数と最小インスタンス数がユーザーに表示されません。

サービスデザインのインポートが次のエラーによって失敗する: 「Error importing content archive. Import of topology 'My Service Design' contains critical error.」

QCCR1D181764

問題

“My Service Design”という名前のサービスデザインを、defaultCloudOSProvider または defaultResourcePool プロパティを設定せずにインポートした場合、次のエラーが表示されます。

コンテンツアーカイブのインポート中にエラーが発生しました。Import of topology 'My Service Design' contains critical error. (トポロジ 'My Service Design' のインポートに重大なエラーがあります)

本リリースでの修正

HP SiteScope (HP SiS)

サービスデザインMOE_COMPUTE_SITESCOPE_UCMDB_3.20のサブスクリプションをキャンセルしても、HP Operations Orchestrationで一部のHP SiteScopeモニターが削除されない

QCCR1D177099

問題

サービスデザイン MOE_COMPUTE_SITESCOPE_UCMDB_3.20 をキャンセルすると、HP Operations Orchestration (HP OO) 10.x で、HP SiteScope にデプロイしたモニターの中に削除されないものがあります。

HP Operations Orchestration

リソース同期アクションを実行するとHP OOでエラーメッセージが表示される

QCCR1D178109

問題

HP CSA で提供されている「VMware vCenter Sync Resource Capacity」OO フローは、クラウドサービス管理コンソールの [リソース] 領域にあるリソースプールでリソース同期アクションとして設定できます。このフローは現在 HP OO 10.02 では使用できません。使用すると次の HP OO ログエラーが発生します。

```
2014-01-07 02:57:43,697 [WorkerExecutionThread-5_165674252] (PluginAdapterImpl.java:176)
ERROR - com.vmware.vim25.ManagedObjectNotFound at
Sun.reflect.NativeConstructorAccessorImpl.newInstance0(Native Method)
```

VMware vCenter

vCenterサービスデザインで、2つのライフサイクルアクションが同時に実行される

QCCR1D165889

問題

ライフサイクルエンジンでは、1つのライフサイクル移行の実行中は、他のライフサイクル移行を開始することはできません。しかし、マーケットプレイスポータルではこれが可能なので、ライフサイクルエンジンが予期しない動作をします。この問題は、フレックスインとフレックスアウトのオペレーションの一部として実行する vCenter ベースのサブスクリプションで発生します。

既知の問題、制限事項、回避方法

既知の問題、制限事項、回避方法

HP Cloud Service Automation (HP CSA)

ソリューション全般

FIPSモードで、HP CSAが起動せず、ログファイルにNoSuchAlgorithmExceptionが記録される

QCCR1D163384

問題

Oracle JDBC Thin Driver (ojdbc6.jar) は、java.security ファイルに別の暗号化プロバイダーが指定されていると、Oracle に SSL モードで接続できません。

原因

Oracle JDBC Thin Driver (ojdbc6.jar) は、java.security ファイルに別の暗号化プロバイダーが指定されていると、SSL モードをサポートしません。詳細情報は、Oracle サポートサイト (<https://support.oracle.com/>) に記載されています。この問題に関しては当社から Sev2 サービス要求が提出されています。SR 番号は Oracle.SR 3-6995008521 です。

回避方法

問題を回避する方法はありません。ソリューションは、Oracle が Oracle Thin JDBC Driver に関する Enhancement Request (ER) 16794055 を実装した時点で利用可能となります (詳細については、Oracle サポートホームページで SR 3-6995008521 をチェックしてください。サポートホームページは <https://support.oracle.com/> です)。

Linuxでプロセス定義ツールを実行すると警告が発生する

QCCR1D181776

問題

Linux でプロセス定義ツールを実行すると、プリファレンスの保存に関する警告がコンソールに出力されます。次の警告のどれかまたは類似の警告メッセージが表示されます。

```
WARNING: Could not lock System prefs. Unix error code 0. (警告: システムプリファレンスをロックできませんでした。Unix エラーコード 0)
```

```
WARNING: Couldn't flush system prefs: java.util.prefs.BackingStoreException: /etc/.java/.systemPrefs/com create failed. (警告: システムプリファレンスをフラッシュできませんでした: java.util.prefs.BackingStoreException: /etc/.java/.systemPrefs/com の作成に失敗しました)
```

原因

一部の Linux ディストリビューションでの Java プリファレンスの保存の問題です。

回避方法

これらの警告はプロセス定義ツールの動作に影響しないので、無視してかまいません。

HP CSAのパフォーマンスが時間とともに低下する

QCCR1D183686

問題

HP CSA がアイドルであっても、長い時間が経つと HP CSA が使用するヒープメモリが増加します。このために、HP CSA の全体的パフォーマンスが低下することがあります。

原因

このメモリリークは、JBoss 7.1.1 の既知のバグ (<https://issues.jboss.org/browse/JBTM-1183>) から生じます。

回避方法

HP CSA のパフォーマンスが時間とともに (時間の長さは場合によって異なりますが、通常は数週間程度) 低下する場合、問題を解決するには HP CSA を再起動します。

コンテンツアーカイブツールでカタログをインポートすると、プロセスがハングする

QCCR1D187153

問題

カタログに HP Helion OpenStack®ベースのデザインが含まれている場合、コンテンツアーカイブツールでカタログをインポート中に、プロセスがハングする場合があります。インポートは成功しますが、制御はコマンドプロンプトまたはシェルに戻されません。

原因

製品の不具合です。

既知の問題、制限事項、回避方法

回避方法

インポートプロセスが完了すると、「インポート操作が完了しました」というメッセージが、インポートされた項目の詳細とともに表示されます。このメッセージが表示された場合、**Ctrl+C** を押すと、プロセスを安全に終了できます。

インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール

HP CSAインストール内にマウントされたファイルシステムがある場合、Linux環境でのアップグレードが失敗する

QCCR1D181403

問題

Linux 環境で HP CSA インストールディレクトリ (\$CSA_HOME の中など) にファイルシステムがマウントされている場合、アップグレードインストーラーを実行する前にファイルシステムをアンマウントしないと、アップグレードが失敗します。

原因

アップグレードインストーラーが、アップグレード中に、マウントされたファイルシステムを削除できないために、アップグレードが失敗します。

回避方法

Linux 環境で HP CSA インストールディレクトリ (\$CSA_HOME の中など) にファイルシステムをマウントした場合、アップグレードインストーラーを実行する前にファイルシステムをアンマウントする必要があります。アップグレードインストーラーが完了した後で、ファイルシステムを再マウントしてください。

HP CSA 4.10 へのアップグレード手順については、『HP CSA 4.10 Upgrade Guide』を参照してください。

HP CSAインストール内で開かれているファイルがあるとアップグレードが失敗する

QCCR1D181588

問題

アップグレード中に HP CSA ファイルが開かれていると、アップグレードが失敗します。

原因

アップグレードインストーラーが、他のプロセスによって開かれているファイルを削除できないために、アップグレードが失敗します。

回避方法

アップグレードインストーラーを実行する前に、次の手順を実行します。

1. HP CSA の <CSA_HOME> 外部、データベース、レジストリファイル (Windows: C:\Program Files\Zero G Registry\com.zerog.registry.xml、Linux: /home/csauuser/com.zerog.registry.xml または /var/com.zerog.registry.xml) をバックアップします。
2. すべてのコマンドプロンプトを閉じて、システム上で実行中のプログラムをすべて終了します。

HP CSA 4.01 へのアップグレード手順については、『HP CSA 4.01 Upgrade Guide』を参照してください。

WindowsシステムでHP CSAのインストールがハングする

QCCR1D181439

問題

Windows に HP CSA をインストールする場合、ユーザーからの入力を求める際にインストールプロセスがハングすることがあります。

原因

InstallAnywhere の不具合です。

回避方法

ハングは HP CSA の実際のインストールより前に起きるため、ハングしたプロセスを強制終了してインストーラーを再実行しても安全です。

インストールディレクトリに特殊文字が含まれる場合、HP CSAのインストールが完了しない

QCCR1D185692

問題

HP CSA は、%、^、*、#のいずれかの文字を含むディレクトリにはインストールできません。製品のインストールディレクトリにこれらの文字が含まれるディレクトリを指定した場合

(例、C:\Program Files\Hewlett-Packard\CSA#4.1\)、HP CSA のインストールは完全には行われません。

原因

HP CSA のインストーラーの作成に使用されている InstallAnywhere が、これらの特殊文字をサポートしていません。

既知の問題、制限事項、回避方法

回避方法

インストールディレクトリを選択する際に、これらの特殊文字を使用しないでください。

HP CSA 3.20 からHP CSA 4.00 またはそれ以降にアップグレードした後で、同じ名前の 2 つのHP DMA プロバイダータイプが表示される

QCCR1D186105

問題

HP CSA 3.20 のユーザーがサービスデザイナーアーカイブ `CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_STANDALONE_DMA_JBOSS_v3.20.00.zip` をインポートしており、それにサービスデザイナー `VCENTER_COMPUTE_STANDALONE_DMA_JBOSS_3.20` が含まれていて、後で HP CSA 4.00 またはそれ以降にアップグレードした場合、表示名が **HP Database and Middleware Automation** のプロバイダータイプが 2 つ表示されます。一方のプロバイダータイプには HP ロゴが含まれていますが、もう一方には含まれていません。このサービスデザイナーアーカイブに含まれていた `DMA_JBOSS_3.20` リソース提供は、HP ロゴがないプロバイダータイプに関連付けられます。

原因

3.20 サービスデザイナーアーカイブでは、HP DMA プロバイダータイプが参照されていましたが、これはまだ HP CSA の定義済みプロバイダータイプではありませんでした。4.00 で HP DMA プロバイダータイプが製品に導入されたため、4.00 にアップグレードすると、重複する HP DMA プロバイダータイプが作成され、`DMA_JBOSS_3.20` リソース提供は HP 画像がないプロバイダータイプに関連付けられたままになります。

回避方法

古いバージョンの HP DMA プロバイダータイプを参照するサービスデザイナーとリソース提供は、引き続き問題なく機能します。あるいは、HP ロゴを含む HP DMA プロバイダータイプを使用して新しく `DMA_JBOSS_3.20` リソース提供を作成し、`VCENTER_COMPUTE_STANDALONE_DMA_JBOSS_3.20` サービスデザイナーを変更して新しいリソース提供を参照させることもできます。その後、ロゴのない方の **HP Database and Middleware Automation** プロバイダータイプは、このリソース提供を使用しているアクティブなサブスクリプションが存在しなければ、削除してもかまいません。

マーケットプレイスポータルだけをインストールする場合に、HP CSA 証明書が検証されない

QCCR1D186654

問題

HP CSA インストーラーは、マーケットプレイスポータルだけのインストールを実行する際に、指定した HP CSA 証明書を検証しません。

原因

インストーラーに証明書を検証するコードがありません。

回避方法

HP CSA システムに指定する証明書ファイルが正しいことを確認してください。

インストール後にHP CSAサービスを手動で開始すると、HP CSAアプリケーションが正しくデプロイされない

QCCR1D186880

問題

HP CSA のインストール中に **[Install Database Components]** 画面で **[No]** を指定すると、インストール後に HP Cloud Service Automation サービスが自動的に開始されません (これは仕様です)。ただし、HP Cloud Service Automation サービスの開始時に、CSA アプリケーションが正しくデプロイされない場合があります。

原因

このシナリオでは、JBoss へのデプロイメントは必要な時間内で常に完了しません。

回避方法

CSA アプリケーション (クラウドサービス管理コンソールなど) にアクセスできない場合、HP Cloud Service Automation サービスを再起動します。

Linux上のHA環境でシングルサインオンが構成されている場合、クラウドサービス管理コンソールが正しく起動しない

QCCR1D187312

問題

シングルサインオンが有効になっている Red Hat Enterprise Linux 上の HA 環境では、クラウドサービス管理コンソールは正しく起動されず、接続しようとする、ブラウザーにエラーが表示される場合があります。

原因

`web.xml` ファイルで、インストール時に設定されるシングルサインオン構成ファイルへのパスが不完全なことが原因です。

既知の問題、制限事項、回避方法

回避方法

1. CSA サービスを停止します。
2. CSA_HOME/jboss-as-7.1.1.Final/domain/servers/hp-cloud/deployments/csa.war/WEB-INF の下にある web.xml ファイルに移動し、次のセクションにある param-value をこのファイルがある場所の完全パスに変更します。

たとえば、

```
<!-- The file below is used by the HP SSO Framework for the configurations required -->
<context-param>
  <param-name>com.hp.sw.bto.ast.security.lwssso.conf.fileLocation</param-name>
  <param-value>/jboss-as-7.1.1.Final/domain/servers/hp-cloud/deployments/csa.war/WEB-
INF/hpsssoConfiguration.xml</param-value>
</context-param>
```

を次のように変更します。

```
<!-- The file below is used by the HP SSO Framework for the configurations required -->
<context-param>
  <param-name>com.hp.sw.bto.ast.security.lwssso.conf.fileLocation</param-name>
  <param-value>/usr/local/hp/csa//jboss-as-7.1.1.Final/domain/servers/hp-
cloud/deployments/csa.war/WEB-INF/hpsssoConfiguration.xml</param-value >
</context-param>
```

3. CSA サービスを再起動します。

クラウドサービス管理コンソール

Chromeで、一部の管理コンソール領域にあるSWFコンテンツが、その部分にユーザーが移動するたびに再ロードされる

QCCR1D148227

問題

Chrome でクラウドサービス管理コンソールにアクセスすると、SWF ファイルを必要とする領域 (組織、カタログ、リソース、デザインの一部とコンポーネントの一部) にユーザーが移動するたび、SWF ファイルが再ロードされます。

原因

HTTPS Web サイトの SSL 証明書が設定されているが、その Web サイトがブラウザによって信頼されていない場合、Chrome は HTTPS Web サイトから SWF を再ロードします。

回避方法

CA が署名した証明書を HP CSA で使用する設定を行います。詳細については、HP CSA の『インストールガイド』と『Configuration Guide』を参照してください。

Firefoxで [システムのプロキシ設定を利用する] を選択した場合に発生する通信エラー

QCCR1D143336

問題

一部のネットワーク環境では、クラウドサービス管理コンソールへのログイン直後に Firefox で通信エラーが発生することがあります。このエラーは、Cloud Service Automation サービスが停止またはアクセス不能になった場合に発生する通常の通信エラーではありません。

原因

一部のネットワーク環境では、[システムのプロキシ設定を利用する] を選択すると、FireFox は CSA と通信できなくなります。

回避方法

Firefox のネットワーク設定を、[システムのプロキシ設定を利用する] 以外の方法を使用するように設定します。たとえば、手動でプロキシを設定するオプションまたはプロキシ設定を自動検出するオプションを選択します。Firefox 14 でこの設定を行うには、[ツール] > [オプション] > [詳細] > [ネットワーク] > [接続設定] を選択します。

IEでセキュリティ強化の構成 (ESC) を有効にすると、クラウドサービス管理コンソールが正しく表示されないかまたは動作しなくなる

QCCR1D165813

既知の問題、制限事項、回避方法

問題

Internet Explorer のセキュリティ強化の構成を有効にした状態でクラウドサービス管理コンソールを表示すると、管理コンソールが正しく表示されなくなることや、動作しなくなることがあります。Internet Explorer 10 または 11 では、管理コンソールにアクセスすると画面に何も表示されないことがあります。Internet Explorer 9 では、エクスポートが正しく機能しないことがあります。

原因

IE でセキュリティ強化の構成を有効にすると、クラウドサービス管理コンソールを正しく表示できなくなります。

回避方法

セキュリティ強化の構成を有効にしたシステムで IE からクラウドサービス管理コンソールにアクセスするには、次のいずれかのオプションを選択してください。

- オプション 1:HP CSA を信頼済みサイトとして追加します (IE で [インターネットオプション] > [セキュリティ] > [信頼済みサイト] > [サイト] を選択し、https://<CSA ホスト名>を追加)。
- オプション 2:HP CSA をローカルイントラネットゾーンとして追加します (IE で [インターネットオプション] > [セキュリティ] > [ローカルイントラネット] > [サイト] を選択し、https://<CSA ホスト名>を追加)。
- オプション 3:IE ESC を無効にします (Windows® の [サーバーマネージャー] で IE ESC を無効にします)。

Ubuntuでブラウザを開いてクラウドサービス管理コンソールにアクセスすると、一部の領域で英語以外の文字表示に問題が発生する

QCCR1D177819

問題

Ubuntu でブラウザを開いてクラウドサービス管理コンソールを実行すると、ロケールが英語以外の場合、一部の領域で文字が正しく表示されません。

原因

Ubuntu システムの問題であり、Flash コンテンツの英語以外の文字で発生します。

回避方法

Ubuntu 以外のシステム (Windows など) でブラウザを使用します。

サービス提供にスクリーンショット画像を添付する際にエラーが発生する

QCCR1D176173

問題

HP CSA が OpenJRE を使用するように構成されている場合に、クラウドサービス管理コンソールでサービス提供にスクリーンショット画像を添付しようとする、特定の.jpeg 画像で失敗することがあります。

原因

HP Cloud Service Automation に付属する OpenJRE のバージョンの不具合であり、特定の.jpeg 画像ファイルでのみ発生します。

回避方法

サービス提供にスクリーンショット画像を添付しようとしてエラーになる場合は、画像ファイルを.png などの別のサポートされる画像形式に変換し、新しい画像をサービス提供に添付してください。

クラウドサービス管理コンソールにログインするのに2回の試行が必要

QCCR1D185405

問題

クラウドサービス管理コンソールにログインするのに2回の試行が必要な場合があります。

原因

製品の不具合であり、クラウドサービス管理コンソールからログアウトせずにブラウザタブを閉じる場合に関連していると思われる。

回避方法

セッションを終了する際は、クラウドサービス管理コンソールからログアウトしてください。最初のログイン試行が失敗した場合は、もう一度ログインしてください。

トポロジデザインを発行する際にエラーメッセージが表示される

QCCR1D186539

問題

クラウドサービス管理コンソールでトポロジデザインを発行しようとする、「Parameter serviceUrl cannot be null or empty」というメッセージが表示されます。

既知の問題、制限事項、回避方法

原因

トポロジデザインを発行するには、『HP Cloud Service Automation Configuration Guide』に記されているように、`csa.properties` ファイルの `OOS_URL`、`OOS_USERNAME`、および `OOS_PASSWORD` プロパティが正しく設定されている必要があります。これらのプロパティの値が正しく設定されていない場合、トポロジデザインを発行しようとするとき上記のエラーメッセージが表示されます。

回避方法

『HP Cloud Service Automation Configuration Guide』に記されているように、`csa.properties` ファイルの `OOS_URL`、`OOS_USERNAME`、および `OOS_PASSWORD` プロパティを設定し、CSA サービスを再起動してからもう一度デザインを発行します。

HP Helion OpenStack®ベースでないトポロジデザインをカタログに発行しようとするときエラーメッセージが出て失敗する

QCCR1D186301

問題

HP Helion OpenStack®ベースでないトポロジデザインに対するサービス提供をカタログに発行しようとしたときに、カタログに環境が関連付けられていると、エラーメッセージが出て失敗することがあります。カタログがプロバイダーを含む環境に関連付けられており、デザインで使用されているトポロジコンポーネントが、カタログに関連付けられているどの環境にも存在しないプロバイダーインスタンスを必要とする場合、サービス提供を発行しようとするときエラーメッセージが出て失敗します。

原因

正常にプロビジョニングできないサービス提供が発行されるのを防ぐため、この状態の提供の発行はブロックされます。ただし、ユーザーが発行後に環境またはプロバイダーと環境の関連付けを修正できるように、この発行は警告付きで許可されるべきです。

回避方法

環境が関連付けられているカタログに HP Helion OpenStack®ベースでないトポロジデザインを発行する場合、デザイン内のトポロジコンポーネントのプロビジョニングに必要なすべてのプロバイダーインスタンスが、カタログに関連付けられている少なくとも 1 つの環境に存在することを確認してください。すべてのプロバイダーインスタンスがカタログに関連付けられているすべての環境に関連付けられている必要はありませんが、少なくとも 1 つの適切なタイプのプロバイダーインスタンスが、カタログに関連付けられている少なくとも 1 つの環境に存在する必要があります。

デザインにコンポーネントを追加した後で高速デザインのトポロジのプロビジョニングが失敗する

QCCR1D186735

問題

クラウドサービス管理コンソールで、**[高速]** デザインオプションを **[はい]** に設定して作成したトポロジデザインにコンポーネントを追加すると、デザインが無効になります。このようなデザインへのサブスクリプションは失敗します。

原因

高速デザインとそれに関連する**高速チェックアウト**機能は、単純に生成されたトポロジデザインに限定されています。

回避方法

[高速] デザインを **[はい]** に設定して作成したトポロジデザインにはコンポーネントを追加しないでください。高速デザインでは、**外部ネットワークセグメント**、**ルーター**、**ネットワークセグメント**、**サーバーグループ**のインスタンスは 1 個しか使用できません。もっと複雑なトポロジには、標準デザインを使用してください。なお、**[高速]** デザインオプションは多くの HP CSA インストールで無効にされています。トポロジデザインの作成の際にこのオプションが表示されない場合は、デザインは**高速**デザインではないので、この問題は発生しません。

トポロジデザインでコンポーネントプロパティの **[変更可能]** 属性が設定できないはずの場合に設定可能である

QCCR1D186541

問題

クラウドサービス管理コンソールのトポロジデザイン領域で、コンポーネントプロパティの **[変更可能]** 属性が、設定できないはずの状況で設定できることがあります (たとえば、**ネットワークセグメント**コンポーネントを持つ HP Helion OpenStack®デザインに **[ネットワーク]** および **[サブネットの選択]** プロパティがある場合)。**[ネットワーク]** プロパティの値が (なし) 以外で、**[変更可能]** に設定されている場合、**[サブネットの選択]** プロパティが表示され、その **[変更可能]** 属性は選択されてグレー表示になるはずですが、これは **[ネットワーク]** プロパティの値を設定した後の動作です。しかし、**[エディター]** タブを終了してから戻った場合、あるいはデザインで別のノードを選択してからもう一度**ネットワークセグメント**を選択した場合、**[サブネットの選択]** の **[変更可能]** 属性は無効になっておらず、ユーザーが **[変更可能]** をオフにすることができます。このため、サブスクリプション時に **[ネットワーク]** の選択に基づいて **[サブネットの選択]** プロパティの値をユーザーが指定する必要がある場合、エラーが発生することがあります。

既知の問題、制限事項、回避方法

原因

トポロジデザインエディターが **[変更可能]** チェックボックスを無効にすべきときに正しく無効にしません。

回避方法

デザインで使用されている他の**変更可能**なプロパティに依存するプロパティ (**[サブネットの選択]** など) の **[変更可能]** チェックボックスがオンになっていることを確認してください。

クラウドサービス管理コンソールでデザインをインポートすると、**[処理済み合計アーティファクト数]** がレポートにリストされている他のすべての合計より大きくなる

QCCR1D186983

問題

クラウドサービス管理コンソールでトポロジまたはシーケンスデザインをインポートする場合、結果を含むレポートを表示するには、**[詳細レポートの表示]** をクリックします。このレポートには、**[Total Artifacts Processed]**、**[In Error]**、**[Adde]**、**[Update]**、**[Reuse]**、**[Remove]** がリストされます。**[Total Artifacts Processed]** に表示される数は、その他すべての合計より大きくなる場合があります。アーティファクトがすでに存在している場合、そのアーティファクトはスキップされますがカウントされ、このようなアーティファクトの数をリストする **[Total Artifacts Skipped]** フィールドがないためです。

原因

レポートは、すでに存在している (またはスキップされた) アーティファクトを識別できません。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

シーケンスデザインによって参照するトポロジデザインを削除できない

QCCR1D186992

問題

代理トポロジコンポーネントを使用してシーケンスデザインによりトポロジデザインを参照する場合、シーケンスデザインに対するすべてのサブスクリプションをキャンセルおよび削除するまで、トポロジデザインを削除できません。

原因

製品の不具合です。

回避方法

トポロジデザインを削除する前に、シーケンスデザインに対するすべてのサブスクリプションを削除します。

インポートされたトポロジコンポーネントに、必須ではないとマークされた必須のコンポーネントプロパティがある

QCCR1D187021

問題

HP Operations Orchestration フローをクラウドサービス管理コンソールの **[デザイン]** / **[トポロジ]** / **[コンポーネント]** 領域にインポートする際、そのフローに同じ名前前の**入力**および**出力**プロパティが含まれている場合、HP CSA に結果的にインポートされるコンポーネントのその名前前のプロパティは、間違っ**て**必須ではないとマークされます。これにより、トポロジデザイン内のコンポーネントが正しく使用されず、必須のプロパティ値が入力されない場合、プロビジョニングエラーが発生する可能性があります。

原因

入力および**出力**プロパティに同じ名前がある場合、フローのインポートが正しく処理されません。

回避方法

このコンポーネントの **[プロパティ]** タブでこのプロパティの定義を編集し、**[必須プロパティ]** チェックボックスをオンにできます。あるいは、トポロジデザインで関連するコンポーネントを使用するときいつでも、このプロパティの値を必ず指定するようにします。

インポートされたトポロジコンポーネントで、複数選択の入力プロパティの値リストが提示されない

QCCR1D186068

問題

HP Operations Orchestration フローをクラウドサービス管理コンソールの **[デザイン]** / **[トポロジ]** / **[コンポーネント]** 領域にインポートする際、そのフローに **[種類]** の値が **[値のリスト]** で **[ソース]** の値が **[ユーザーへのプロンプト (選択リストから)]** を持つ入力プロパティが含まれている場合、HP CSA に結果的にインポートされるコンポーネントには、この入力プロパティに対してタイプが **[文字列]** のプロパティ値が設定されます。1つ以上の値を選択できる値リストの代わりに、**[コンポーネント]** と **[デザイナー]** の両方の領域では、単一のテキスト入力がこのプロパティのユーザーに提示されます。

原因

クラウドサービス管理コンソールの **[デザイン]** / **[トポロジ]** / **[コンポーネント]** と **[デザイン]** / **[トポロジ]** / **[デザイナー]** 領域には、このような複数選択のプロパティに対する正常なサポートがありません。

既知の問題、制限事項、回避方法

回避方法

このようなプロパティのテキスト入力では、フローが入力プロパティの解析に使用する方法で区切られた適切な区切り文字を使用して、プロパティ値をエンコードします。フローが HP Operations Orchestration で提供されるデフォルトの「**Selection List Iterate**」オペレーションを使用している場合、区切り文字 (セパレーター) は構成可能であり、デフォルトは'|'になります。たとえば、'red'、'green'、'blue' という複数の値は、デフォルトのセパレーター値で「**Selection List Iterate**」オペレーションを使用する場合、'red|green|blue' (引用符なし) のように指定します。

HP Operations Orchestration コンテンツパックをインポートすると、内部サーバーエラーが発生する

QCCR1D187086

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域から HP Operations Orchestration コンテンツパックをインポートする際、同じコンテンツパックを 2 度インポートすると、次の内容のエラーダイアログが表示されます。

「内部サーバーエラーが発生しました。システム管理者に連絡してください」

原因

インポート中にコンポーネントがすでに存在しているかどうかを特定するチェックでエラーが発生すると、わかりやすいエラーメッセージではなく、この内部サーバーエラーメッセージが表示されます。

回避方法

すでにインポートされているコンテンツパックをインポートしないようにします。

コンポーネントのインポート中に、「要求されたリソースがサーバー上に見つかりません」というエラーメッセージが表示される

QCCR1D187158

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域でコンポーネントをインポートする際、[ソースタイプ] が [ライブインスタンス] に設定されていると、指定されたプロバイダーインスタンスに、そのプロバイダー用に構成された URL と資格情報を使用してアクセスできない場合、「要求されたリソースがサーバー上に見つかりません」というエラーが発生する場合があります。

原因

このエラーメッセージは、プロバイダーに接続できない場合に表示されます。

回避方法

Chef または HP Server Automation プロバイダーからインポートしている場合、クラウドサービス管理コンソールの [プロバイダー] 領域のリソースプロバイダーの [サービスアクセスポイント]、[ユーザーID]、および [パスワード] が正しく構成されていることを確認します。Chef からインポートしている場合、プロバイダー上の chefClient および chefClientKey プロパティが正しく構成されていることを確認します。HP Operations Orchestration からインポートしている場合は、csa.properties 内の OOS_URL、OOS_USERNAME、および OOS_PASSWORD の値が正しく構成されていることを確認します。

トポロジデザインのテスト実行機能がすべてのケースで動作しない

QCCR1D187129

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [デザイナー] 領域で、デザインのすべてのタイプについて [テスト実行] 機能を正常に使用できません。特に、依存プロパティがあるデザインは、あらゆる状況でテスト不可です。

たとえば、HP Helion OpenStack@デザインは、[ネットワーク] プロパティを含む [ネットワークセグメントード] コンポーネントを使用でき、[ネットワーク] が選択されている場合は、[サブネットの選択] プロパティを使用できます。[サブネットの選択] プロパティの値は、[ネットワーク] の選択に応じて変わります。どちらかのプロパティも、デザインを正常にプロビジョニングするために指定する必要があります。ただし、[ネットワーク] と [サブネットの選択] の適切な値はサブスクライバーから取得されるもので、デザインで指定するものではありません。デザインの構成で、[ネットワーク] が未設定 (値は (なし)) で [変更可能] に設定されている場合、[サブネットの選択] プロパティも未設定で [変更可能] に設定されます。ただし、[サブネットの選択] プロパティは、デザインの [エディター] タブには表示されません。マーケットプレイスポータルでこのデザインのサブスクリプションをオーダーする場合、ユーザーは [ネットワーク] と [サブネットの選択] の両方の値を指定でき、プロビジョニングは正常に行われます。ただし、このデザインの [テスト実行] をクリックすると、テスト実行を行っているユーザーは [ネットワーク] しか指定できず、[サブネットの選択] の値はユーザーに提示されないため、[テスト実行] は失敗します。

原因

製品の不具合です。

既知の問題、制限事項、回避方法

回避方法

[**テスト実行**] を使用してこのようなデザインを正常にテストするには、依存するプロパティ (上記の例では、[**ネットワーク**] プロパティ) に対して (なし) 以外の値を指定します。これにより、[**サブネットの選択**] プロパティが [**エディター**] タブと [**テスト実行**] の実行時の両方で表示されます。[**ネットワーク**] のデフォルトの選択を (なし) にする場合、デザインのテスト完了時にその未設定の値を復元します。

[カタログ] または [提供] 領域にトポロジデザインのアーカイブをインポートすると、プレビューエラーが発生する

QCCR1D187205

問題

クラウドサービス管理コンソールの [カタログ] または [提供] 領域で、トポロジデザインを含むアーカイブをインポートする際、アーカイブに CSA にまだインポートされていないコンポーネントを持つトポロジデザインが含まれている場合、[プレビュー] をクリックすると、エラーが表示されます。「Could not resolve component template for topology resource <topology-resource-id>」という形式のエラーが表示されます。

これらのエラーで、インポート操作は失敗しません。コンポーネントはアーカイブ内に存在し、デザインとともにインポートされます。

[デザイン]/[トポロジ]/[デザイナー] 領域からのインポートでは、このようなエラーは表示されません。

原因

製品の不具合です。

回避方法

これらのプレビューエラーは無視できます。

既存の発行済みトポロジデザインがサービスデザインのインポート中に更新される

QCCR1D187102

問題

デザインをクラウドサービス管理コンソールの [デザイン]/[トポロジ]/[デザイナー] 領域でインポートする際、[インポート] ダイアログで [更新] の [アクション] を指定しても、通常は発行済みの HP CSA 内の既存のデザインに対する更新は許可されません。これは、サービス提供ですでに使用されている可能性がある発行済みデザインに対する変更を防止するための仕様です。ただし、HP CSA にすでに存在する発行済みのデザイン自身をインポートした場合、通常のインポートの保護機能は正しく動作せず、インポート中に [更新] の [アクション] を指定すると、既存の発行済みデザインを更新できます。

原因

製品の不具合です。

回避方法

[更新] の [アクション] を使用してデザインをインポートする場合は、注意が必要です。すでに発行されているデザイン、特にサービス提供で使用されているデザインは再インポートしないようにします。

変更可能な非公開のプロパティ値を含むトポロジデザインに対するプロビジョニングが失敗する

QCCR1D187274

問題

[**変更可能**] に構成されている非公開のプロパティ値を含むトポロジデザインのプロビジョニングは、失敗する場合があります。たとえば、vCenter サーバーまたは Amazon サーバーのコンポーネントを含むトポロジデザインには、非公開のパスワードプロパティが含まれています。パスワードが [**変更可能**] に構成されていて、デザインに Chef コンポーネント (Java など) も含まれている場合、[**テスト実行**] を使用するか、マーケットプレイスポータルでデザインへのサブスクリプションを作成しても、デザインは正常にプロビジョニングできません。関連付けられた Chef コンポーネントがないような単純なデザインは、パスワードプロパティが [**変更可能**] としてマークされていても成功する可能性があります。

原因

製品の不具合です。

回避方法

トポロジデザインで非公開プロパティを [**変更可能**] に設定しないようにします。デザイン内のプロパティに対して正しい値を構成します。

同じIDを持つ複数のトポロジコンポーネント関係が作成される場合がある

QCCR1D187388

既知の問題、制限事項、回避方法

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域では、[関係] タブでコンポーネントに関する関係が作成されます。関係の作成時に、ユーザーは関係の固有 ID の入力を求められます。ただし、関係 ID が固有であることの検証は行われず、ユーザーは同じ ID を持つ複数の関係を作成できます。このような関係はすべて HP CSA データベースに格納されますが、ユーザーには同一の ID を持つ関係のうち、1つの関係しか表示されません。このような関係を削除してコンポーネントを保存すると、同一の ID を持つ別の関係が表示されます。

原因

製品の不具合です。

回避方法

トポロジコンポーネント上で同じ ID を持つ複数の関係を作成しないようにします。

トポロジコンポーネントに対して [名前を付けて保存] ボタンを使用しても、ソートコンポーネント関係が正しく複製されない

QCCR1D187355

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域にあるトポロジコンポーネントの [名前を付けて保存] ボタンでは、ソースコンポーネント上で構成された関係が新たに作成したコンポーネントに正しく複製されません。これにより、ユーザーにとってさまざまな問題が発生する可能性があります。たとえば、コピーしたコンポーネントの関係に対する変更がソースコンポーネントに影響を与え、デザインでソースコンポーネントが使用されている場合、コピーしたコンポーネントを削除できなくなったりします。

原因

製品の不具合です。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

発行済みのトポロジデザインに関連付けられているサービス提供のインポートで、エラーメッセージが表示される

QCCR1D187427

問題

クラウドサービス管理コンソールでは、インポートを実行中のシステムにトポロジデザインがすでに存在している場合、サービス提供および関連付けられている発行済みのトポロジデザインを含むサービス提供アーカイブをインポートできません。これは、[インポートオプション] が [更新] に設定されている場合や、システムにすでに存在しているトポロジデザインがサービス提供アーカイブ内のものと完全に一致する場合でも該当します。「変更の保存にはトポロジをロック解除する必要があります (現在の状態は「発行済み」です)」というテキストを含むエラーが表示されます。

原因

製品の不具合です。

回避方法

サービス提供および関連付けられている発行済みのトポロジデザインを正常にインポートするには、インポートを実行するシステム上の既存のトポロジデザイン (および関連付けられている任意のサービス提供) をまず削除する必要があります。

コンポーネント関係を使用するトポロジデザインをインポートすると、失敗するか、正しく機能しないデザインが作成される

QCCR1D187332

問題

HP CSA システム上にすでに存在するコンポーネントを使用したトポロジデザインをインポートする際に、これらのコンポーネント上に存在しない関係を使用したものをインポートすると、インポート操作は失敗するか、成功したように見えても正しく機能しないデザインが作成されます。存在しない関係がエクスポート対象デザインの作成時に [必須関係] になるように構成されていた場合、インポートは失敗し、インポートの [プレビュー] レポートに、存在しない関係の詳細が表示されます。存在しない関係がエクスポート対象デザインの作成時に [必須関係] になるように構成されていなかった場合、インポートは成功しますが、デザインの [エディター] タブは機能せず、[概要] タブにデザインを削除するボタンだけが表示されます。

原因

製品の不具合です。

回避方法

[プレビュー] 操作または実際のインポートの後に [詳細レポートの表示] をクリックすると、存在しない関係、または構成が間違った関係の詳細が表示されます。

既知の問題、制限事項、回避方法

存在しない関係が必須の関係であった場合、次の形式のメッセージが表示されます。

```
relation.<relation_name>_<component_id> - Missing in repository component type
```

存在しない関係が必須の関係でなかった場合、次の形式のメッセージが表示されます。

```
relation.<relation_name>_<component_id> - Exist different (review needed)
```

これらのメッセージは、必要な関係がない特定のトポロジコンポーネントのコンテキストで表示されます。デザインのインポートを成功させるには、クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域に移動し、指定された <component_id> を持つ関連するコンポーネントを選択して、詳細レポートで指定された正確な <relation_name> 値を使用して必要な関係を作成します。その後、デザインを通常どおりインポートできます。すでに (必須でない関係を使用する) デザインをインポート済みで、[概要] タブに [削除] ボタンしか表示されていない場合は、最初にデザインを削除してから、再インポートします。

関係の再作成が不可能か、望ましくない場合、関連付けられているコンポーネントを削除します (ほかに HP CSA システムで使用されていない場合)。デザインのインポート時に必要な関係を持つコンポーネントが再作成されます。

マーケットプレイスポータル

マーケットプレイスポータルで、VMネットワークインタフェースにすでに追加したセキュリティグループを選択できる

QCCR1D177361

問題

HP Helion OpenStack®トポロジデザインから作成したサービスでは、マーケットプレイスポータルの [セキュリティグループの追加] アクションにより、VM ネットワークインタフェースにすでに追加されているセキュリティグループを選択できます。ドロップダウンリストには、割り当てられていないセキュリティグループのみが表示されるべきです。

原因

HP Helion OpenStack®から取得したセキュリティグループのリストが、正しくフィルター処理されません。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

マーケットプレイスポータルで、VMネットワークインタフェースに追加されていないセキュリティグループを削除できる

QCCR1D177360

問題

HP Helion OpenStack®トポロジデザインから作成したサービスでは、マーケットプレイスポータルの [セキュリティグループの削除] アクションにより、VM ネットワークインタフェースにまだ割り当てられていないセキュリティグループを選択できます。ドロップダウンリストには、VM ネットワークにすでに割り当てられているセキュリティグループのみが表示されるべきです。

原因

HP Helion OpenStack®から取得したセキュリティグループのリストが、正しくフィルター処理されません。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

サブスクリプションをキャンセルした後、マーケットプレイスポータルが応答しなくなる

QCCR1D177494

問題

HP Helion OpenStack®ベースのサブスクリプションをキャンセルすると、HP Helion OpenStack®管理ダッシュボードやマーケットプレイスポータルがしばらく応答しなくなります。サブスクリプションを複数同時にキャンセルすると、この状態が発生しやすくなります。

原因

製品の不具合です。

回避方法

一時的に遅延が発生しますが、UIは復帰します。

既知の問題、制限事項、回避方法

マーケットプレイスポータルの [サーバーグループへのボリュームグループの追加] パブリックアクションが動作する条件に制限がある

QCCR1D177615

問題

HP Helion OpenStack®のトポロジデザインからサービスを作成した場合、マーケットプレイスポータルでこのサービスに表示される [サーバーグループへのボリュームグループの追加] パブリックアクションは、非常に限られた条件でしか動作しません。

原因

サーバーグループ内のサーバー数は、このアクションの呼び出し時に追加されるボリュームの数と一致しなければなりません。ただし、[ボリューム ID] ドロップダウンではボリュームを複数選択できません。したがって、このアクションが成功するのは、サーバーグループ内のサーバーが 1 つのみの場合に限られてしまいます。さらに、HP Helion OpenStack®でボリュームを作成し、サーバーグループに関連付けられない状態にしておく必要があります。このアクションの実行時には、このような状態のボリュームしか選択できないためです。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

サブスクリプションを変更する際に、プロファイルが表示されるが選択できない

QCCR1D180705

問題

シーケンスデザインに代理トポロジコンポーネントが含まれている場合に、サブスクリプションを変更すると、トポロジプロファイルが表示されます。これらのトポロジプロファイルは選択できません。

原因

トポロジサブスクリプションプロファイルの変更はマーケットプレイスポータルではサポートされません。しかし、プロファイルはシーケンスデザインから発生するため、マーケットプレイスポータルに表示されます。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

ショッピングカートで構成を編集する際のサービスの動的プロパティが正しく設定されない

QCCR1D182350

問題

ショッピングカートに追加したオーダーの構成を編集する際に、前に選択した動的プロパティの値が表示されません。

原因

動的プロパティのロード処理がショッピングカートに実装されていません。

回避方法

サービスを再構成してください。

ショッピングカートに追加したアイテムの構成を変更する際に、間違った価格設定が表示される

QCCR1D187547

問題

マーケットプレイスポータルで、ショッピングカートに追加したアイテムの構成を編集する際に、間違った価格設定が表示されることがあります。正しい価格より低い場合もあれば、高い場合もあります。場合によっては、エラーがメインのカートページに伝えられず、[構成の編集] ページに間違った値が表示されていても、メインのカートページには正しい値が表示されたままになっていることがあります。カート内の 1 つの提供を編集してメインのカートページに戻っても、残りの提供の値は変更されません。

原因

製品の不具合です。

回避方法

アイテムをカートに配置する前に、すべての構成オプションを正しく設定します。

クラスター環境

HA環境にインストールされているマーケットプレイスポータルにログインできない

QCCR1D186759

既知の問題、制限事項、回避方法

問題

HA 環境で、クラウドサービス管理コンソールで構成されている組織名に非 ASCII 文字 (中国語文字など) が含まれている場合、マーケットプレイスポータルにログインできません。

原因

HA 環境で Apache と JBoss の間の通信に使用されているプロトコルは、デフォルトでは UTF-8 エンコーディングを使用しません。デフォルトの構成では、非 ASCII 文字はこの通信の実行時に破損します。

回避方法

次のいずれかの方法をとります。

- 1) 組織名に非 ASCII 文字を使用するのを避けます。
- 2) クラスター内のすべての HP CSA ノードの %CSA_HOME%\jboss-as-7.1.1.Final\domain\configuration\domain.xml ファイル (system-properties セクション) に次のプロパティを追加してから、HP CSA を再起動します。

```
<property name="org.apache.catalina.connector.URI_ENCODING" value="UTF-8"/>
```

オンラインヘルプ

現在 1 つまたは複数のカタログに公開されているサービス提供を削除できる

QCCR1D187549

問題

クラウドサービス管理コンソールでは、現在 1 つまたは複数のカタログに公開されているサービス提供を削除できます。サービス提供は、マーケットプレイスポータル内のアクティブなサブスクリプションがそのサービス提供から作成されたものであっても、削除できます。この動作は仕様ですが、クラウドサービス管理コンソールのヘルプに正しく記載されていません。

原因

ドキュメントの不具合です。

回避方法

サービス提供を削除する際は注意が必要です。カタログに公開されている場合や、あるいはアクティブなサブスクリプションで使用されている場合であっても、サービス提供を削除することに注意してください。サブスクリプションで使用されるサービス提供を削除すると、サブスクリプション問題のトリアージが難しくなる場合があります。

『インストールガイド』と『Upgrade Guide』

生成したPDFの書式の問題

問題

『インストールガイド』と『Upgrade Guide』の PDF を生成すると、次のような問題が発生します。

- 改ページで表の行が分割される場合、行の最初の列が、次の行の最初の列と結合されます。
- 例のテキストが右マージンで切り捨てられます。
- テキストが行末で文字化けします。
- ドキュメント内にある他のセクションへのリンクが破損しています。
- コンテンツに埋め込まれたアイコンが表示されないことがあります。

回避方法

『インストールガイド』と『Upgrade Guide』の内容は、印刷ではなく Web ブラウザーで表示してください。

HP CSA API

プリミティブの値を指定しないと値がデフォルトにリセットされる

QCCR1D152913

問題

ユーザーが REST API から PUT 要求を行う際に、プリミティブプロパティの値を指定しないと、プロパティがデフォルト値にリセットされます。

原因

原因アーティファクトの一部のプロパティは、Java でプリミティブ型を使用してモデル化されています。このために、REST API で PUT 要求を使用する際に問題が生じることがあります。REST API を使用して HP CSA インスタンスに PUT 要求が送信される際に、アーティファクトまたはその一部を表すデータは、Java オブジェクトに変換されます。Java オブジェクトのプリミティブ型プロパティは、常に値を持つ必要があります。これらのプロパティにユーザーが値を指定しない場合、要件を満たすためにデフォルト値が使用されます。

既知の問題、制限事項、回避方法

Java のプリミティブ型は次のとおりです。

- byte
- short
- int
- long
- float
- double
- char
- boolean

回避方法

回避策 先に GET を呼び出し、GET の応答のうち必要なプロパティだけを変更します。この変更した応答を PUT 要求で送信します。

HP CSAとの統合

HP ArcSight Logger

HP CSA server.logとArcSight Loggerの統合が正しく機能しない

QCCR1D156585

問題

%CSA_HOME%\jboss-as-7.1.1.Final\standalone\log\server.log と HP ArcSight Logger バージョン 5.2 または 5.3 の統合はサポートされていません。

原因

JBoss 7.1.1 と ArcSight Logger 5.2 または 5.3 を統合するには別のハンドラーが必要であり、現在は ArcSight Logger でサポートされていません。

回避方法

現在のところ、問題を回避する方法はありません。このハンドラーに関しては機能拡張要求が HP ArcSight Logger チームに提出されているので、製品リリース後に提供される可能性があります。機能拡張要求のステータスについては、HP サポート担当者にお問い合わせください。

HP ArcSight Loggerの構成エントリがlog4j.propertiesにない

QCCR1D156785

問題

HP ArcSight Logger で HP CSA を構成してからアップグレードすると、アップグレード後、ArcSight Logger との統合が正しく機能しなくなります。

原因

アップグレード時、log4j.properties ファイルが正しく更新されません。

回避方法

アップグレード後、次のファイルを開きます。

%CSA_HOME%\jboss-as-7.1.1.Final\standalone\deployments\csa.war\WEB-INF\classes\log4j.properties
次に示すように、ファイルの最後にある行を次のようにコメントアウトします。

```
#log4j.appender.cefl=com.hp.esp.arcsight.cef.appender.Log4jAppender
#log4j.appender.cefl.deviceVendor=HP
#log4j.appender.cefl.deviceProduct=CSA
#log4j.appender.cefl.deviceVersion=3.1
#log4j.appender.cefl.transportType=SYSLOG
#log4j.appender.cefl.hostName=192.x.x.x
#log4j.appender.cefl.port=515
#log4j.appender.cefl.layout=org.apache.log4j.PatternLayout
#log4j.appender.cefl.layout.ConversionPattern=%d{DATE} [%t] %-5p %x %C{1} : %m%n
#log4j.appender.cefl.appender.threshold=off
```

既知の問題、制限事項、回避方法

HP Helion OpenStack®

パブリックアクション [サーバーグループへのサーバーの追加] が使用できない

QCCR1D181733

問題

HP Helion OpenStack®プロバイダーインスタンスが SSL を有効にしたプロキシサーバーの背後にある場合、パブリックアクション [サーバーグループへのサーバーの追加] は使用できません。

原因

HP Helion OpenStack®では、SSL を有効にしたプロキシサーバーの背後にある場合、パブリックアクション [サーバーグループへのサーバーの追加] は使用できません。

回避方法

SSL を無効にします。

トポロジデザインのプロファイルのプロパティ値とリソースプールが予期したとおりに動作しない場合がある

QCCR1D181767

問題

トポロジデザインで使用されているプロパティ値またはリソースプールは、デザインのプロファイルで使用されているプロパティ値またはリソースプールをオーバーライドします。しかし、プロファイルで使用されているプロパティ値またはリソースプールは、デザインで使用されているプロパティ値またはリソースプールをオーバーライドしません。

たとえば、トポロジデザインのリソースプール値が変更された場合、すべてのプロファイルのリソースプール値がデザインの値に合わせて更新されます。しかし、プロファイルのリソースプール値がデザインの値と異なる値に変更された場合、値は異なったままになります (デザインの値はプロファイルの値に合わせて更新されません)。

原因

これは予期される動作です。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

HP Helion OpenStack®でインスタンスを終了しても、HP CSAマーケットプレイスポータルやクラウドサービス管理コンソールに反映されない

QCCR1D176653

問題

すでにプロビジョニングが完了している HP Helion OpenStack®インスタンスを HP Helion OpenStack®管理ダッシュボードで変更すると、変更内容はクラウドサービス管理コンソールやマーケットプレイスポータルには反映されません。たとえば、HP Helion OpenStack®のインスタンスを HP Helion OpenStack®管理ダッシュボードから終了しても、マーケットプレイスポータルと、クラウドサービス管理コンソールの [オペレーション] 領域で、インスタンスのステータスは [アクティブ] と表示されます。

原因

HP Helion OpenStack®でアクティブなインスタンスに直接行った変更は、HP CSA に同期されません。

回避方法

HP CSA でプロビジョニングしたサービスのサブスクリプションをキャンセルまたは変更する場合には、HP Helion OpenStack®管理ダッシュボードではなく、マーケットプレイスポータルやクラウドサービス管理コンソールの [オペレーション] 領域を使用してください。

トポロジの高速デザインオプションを使用している場合に、HP Helion OpenStack®セキュリティグループを作成できない

QCCR1D186548

問題

クラウドサービス管理コンソールで、[高速] デザインオプションを [はい] に設定し、関係 [サーバーグループ->ネットワークセグメント] の [セキュリティグループ] プロパティを [セキュリティグループの作成] に設定して作成したトポロジデザインを保存しようとする、次のエラーが発生します。「関係 "サーバーグループ->ネットワークセグメント" のプロパティ "セキュリティグループ" には値の作成があり、変更可能です。これは有効ではありません。変更可能をオフにしてください。」

変更可能フラグをオフにするとデザインの保存は可能になりますが、それでもまだ発行できません。次のエラーが発生します。

「次のエラーのために発行が失敗しました: プロパティ "サーバーグループ - ネットワークセグメント.セキュリティグループ" は変更可能に設定する必要があります。」

既知の問題、制限事項、回避方法

原因

高速デザイン機能を使用して新規 HP Helion OpenStack®セキュリティグループを作成することはできません。

回避方法

HP Helion OpenStack®トポロジデザインのの一部として新規セキュリティグループを作成する必要がある場合は、[高速] デザインオプションを [いいえ] に設定してデザインを作成してください。なお、[高速] デザインオプションは多くの HP CSA インストールで無効にされています。トポロジデザインの作成の際にこのオプションが表示されない場合は、デザインは高速デザインではないので、この問題は発生しません。

トポロジの高速デザインオプションを使用している場合に、HP Helion OpenStack®ルーターを作成できない

QCCR1D186549

問題

クラウドサービス管理コンソールで、[高速] デザインオプションを [はい] に設定し、ルーターコンポーネントの [ルーター] プロパティを [新規ルーターの作成] に設定して作成したトポロジデザインを保存しようとする、次のエラーが発生します。「リソース "ルーター" のプロパティ "ルーター" には値の作成があり、変更可能です。これは有効ではありません。変更可能をオフにしてください。」

変更可能フラグをオフにするとデザインの保存は可能になりますが、それでもまだ発行できません。次のエラーが発生します。

「次のエラーのために発行が失敗しました: プロパティ "ルーター.ルーター" は変更可能に設定する必要があります。」

原因

高速デザイン機能を使用して新規 HP Helion OpenStack®ルーターを作成することはできません。

回避方法

HP Helion OpenStack®トポロジデザインの一部として新規ルーターを作成する必要がある場合は、[高速] デザインオプションを [いいえ] に設定してデザインを作成してください。なお、[高速] デザインオプションは多くの HP CSA インストールで無効にされています。トポロジデザインの作成の際にこのオプションが表示されない場合は、デザインは高速デザインではないので、この問題は発生しません。

HP Helion OpenStack®ベースのトポロジデザインに正常にサブスクライブできない

QCCR1D186855

問題

HP Helion OpenStack®トポロジデザインにネットワークセグメントコンポーネントがあり、その [ネットワーク] プロパティが設定されておらず ((なし) に設定)、[変更可能] に指定されている場合、マーケットプレイスポータルでそのデザインに正常にサブスクライブすることができません。

原因

[ネットワーク] プロパティが設定されていない場合、トポロジデザインの [エディター] タブに [サブネットの選択] プロパティが表示されません。[ネットワーク] プロパティがその他の値に設定され、[変更可能] に指定されている場合、[サブネットの選択] プロパティが表示され、[変更可能] になるため、マーケットプレイスポータルのサブスクライバーはサブスクリプション時に [ネットワーク] と [サブネットの選択] の両方に対して適切な値を選択することができます。これに対して、[ネットワーク] が設定されていない場合、[サブネットの選択] プロパティがデザイナーに表示されず、[変更可能] でないため、サブスクライバーには表示されません。[サブネットの選択] の値はサブスクライバーによる [ネットワーク] の選択に依存し、このシナリオではサブスクライバーがサブネットを選択する機会がないため、サブスクリプションは失敗します。

回避方法

[ネットワーク] プロパティが [変更可能] に指定されている場合は、(なし) には設定しないでください。[ネットワーク] を [変更可能] にしないか、[変更可能] にする場合は [ネットワーク] を (なし) 以外の値に設定してください。

HP Helion OpenStack®トポロジベースのサブスクリプションが、ユーザーへのエラーメッセージなしで失敗する

QCCR1D187181

問題

リソース環境を使用して構成されたカタログに、HP Helion OpenStack®トポロジデザインから作成されたサービス提供が含まれている場合、これらのデザインで参照される HP Helion OpenStack®プロバイダーを、カタログに関連付けられている少なくとも 1 つのリソース環境に含める必要があります。デザインに必要なプロバイダーが少なくとも 1 つの環境に関連付けられていない場合、マーケットプレイスポータルでのこのようなデザインに対するサブスクリプション要求は失敗し、サブスクリプションは作成されず、失敗に関する情報もユーザーには報告されません。エラーは csa.log ファイルで報告されます。

既知の問題、制限事項、回避方法

原因

製品の不具合です。

回避方法

必要な HP Helion OpenStack®プロバイダーを、カタログに関連付けられている少なくとも1つの環境に関連付けます。

[名前を付けて保存] ボタンがHP Helion OpenStack®コンポーネントに対して動作しない

QCCR1D187354

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域では、[名前を付けて保存] ボタンを使用して、HP Helion OpenStack®コンポーネント (サーバーグループなど) のコピーを作成することはできません。

原因

製品の不具合です。

回避方法

HP Helion OpenStack コンポーネントのコピーの作成はサポートされていません。[名前を付けて保存] ボタンを使用して、このようなコンポーネントをコピーしないようにします。

HP Matrix Operating Environment (HP MOE)

HP MOEサブスクリプションが "No server pools are available to user" というエラーで失敗する

QCCR1D147531

問題

MOE_COMPUTE_MT_3.20 または MOE_SCL_MT をベースにするサービスデザインのサブスクリプションが要求されると、OOフローで次のエラーが発生します。

```
No server pools are available to user
```

原因

HP Matrix Operating Environment には、次のような制約があります。v7.0 で API/CLI コマンドの正常な動作が保証されるのは、ユーザーが1つの組織に所属する場合のみです。

回避方法

詳細については、ホワイトペーパー『Multi-Tenancy in HP Matrix Operating Environment Infrastructure Orchestration 7.0』を参照してください。

HP Operations Orchestration (HP OO)

HP Cloud Service (HP CS) – OPENSTACKサービスのサブスクリプションが失敗し、状態が [保留中] と表示される

QCCR1D155141

問題

HP Cloud Service (HP CS) – OPENSTACK サービスのサブスクリプションが失敗すると、マーケットプレイスポータルではサブスクリプションのステータスが、[デプロイ中] の状態で [保留中] と表示されます。

原因

サブスクリプションのオーダー時に無効な組み合わせの入力が選択されています。HP Operations Orchestration (HP OO) – OPENSTACK の統合フローは、サブスクリプションのオーダー時に選択される入力の組み合わせが無効であってもエラーを返さず、実行時例外を発行することによってフローを終了します。このプロセスのステータスは HP CSA では更新されず、[デプロイ中] のままになり、サブスクリプションのステータスは [保留中] になります。

回避方法

現在のところ、問題を回避する方法はありません。この HP OO – HP CS の統合に関する不具合は、ID QCCR1D155146 で報告されています。

トポロジデザインを削除した場合、関連するHP Operations Orchestrationフローが削除されない

QCCR1D182748

既知の問題、制限事項、回避方法

問題

トポロジデザインを作成した場合、そのデザイン用の HP Operations Orchestration フローは Library / Integrations / Hewlett-Packard / Cloud Service Automation / E2E / <product_version>ディレクトリに作成されます。トポロジデザインを削除しても、関連するフローは HP Operations Orchestration から削除されません。

原因

製品の制限です。

回避方法

関連するフローは無視してもかまいませんが、手動で削除することもできます。フロー名には識別のためにデザイン名とバージョンが含まれています。

HP Operations Orchestration Centralでプロバイダーの資格情報がクリアテキストで表示される

QCCR1D184932

問題

シーケンスデザインをプロビジョニングする際には、リソースプロバイダーの詳細を取得する HP Operations Orchestration フロー (「Get Resource Provider Details」や「Get DMA Provider」など) が実行されます。この実行の結果を HP Operations Orchestration Central で表示する際に、プロバイダーの資格情報がクリアテキストで表示されます。

原因

HP Operations Orchestration 10.x には、フロー実行の出力を難読化するオプションがありません。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

HP Operations Orchestration Centralで、非公開のコンポーネントプロパティがクリアテキストで表示される

QCCR1D186611

問題

HP Operations Orchestration Central でトポロジデザインをプロビジョニングするフローの実行レポートを表示する際、クラウドサービス管理コンソールで **[非公開]** としてマークされた一部のコンポーネントプロパティが、HP OO Central ではクリアテキストで表示されます。

原因

製品の不具合です。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

HP Operations Orchestration Studioで、[結果] フィールドに関するエラーが報告される

QCCR1D185826

問題

クラウドサービス管理コンソールで作成されたすべてのトポロジデザインには、デザインのプロビジョニングに使用される関連する HP Operations Orchestration フローがあります。このフローは自動的に生成されます。トポロジデザインに HP CSA 付属のコンポーネント、または HP Operations Orchestration からインポートされたコンポーネントが含まれている場合、トポロジデザイン用に生成されたフローには、**[結果]** フィールドが含まれます。このフローを HP Operations Orchestration Studio で開くと、**[結果]** フィールドが存在するため、このフローに対してエラーが報告されます。

HP Operations Orchestration Studio でこれらのエラーが発生しても、フローのプロビジョニングには影響を与えません。また、HP CSA を使用するために、生成されたこれらのフローを HP Operations Orchestration Studio で開く必要もありません。

原因

クラウドサービス管理コンソールの **[デザイン]** / **[トポロジ]** / **[コンポーネント]** 領域で、コンポーネントを HP Operations Orchestration フローからインポートすると、HP Operations Orchestration REST API はフローに **[結果]** 出力が存在することを示します。このため、トポロジデザインをプロビジョニングするフローを自動生成すると、間違った **[結果]** フィールドが作成されます。

回避方法

HP Operations Orchestration Studio のこれらのエラーは無視できます。生成したこれらのフローを HP Operations Orchestration Studio で直接実行する場合、最初に問題のある **[結果]** フィールドを手動で削除します。

HP OOフローからインポートされたトポロジコンポーネントの **[デプロイ中]** 状態が **[デプロイ済み]** に更新されない

QCCR1D187228

既知の問題、制限事項、回避方法

問題

トポロジコンポーネントの [デプロイ中] 状態 (クラウドサービス管理コンソールの [オペレーション] 領域と [テスト実行] 領域に表示) は、コンポーネントが正常にデプロイされた後も [デプロイ済み] に更新されないことがあります。この動作は、HP Operations Orchestration フローからインポートされ、response プロパティを使用してフローの成功/失敗を示すコンポーネントで発生します。

原因

製品の不具合です。

回避方法

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域でコンポーネントを選択し、次の手順を実行します。

1. [プロパティ] タブで、自動的に作成された 'response' プロパティを削除します。
2. 表示名と ID 'response' を持つ 'response' プロパティを再作成します。
3. [保存] をクリックします。
4. [オペレーション] タブで、response プロパティを使用するオペレーションを選択します。
5. [実装] を選択します。
6. [パラメーターマッピング] 領域で、response プロパティを同じ 'response' という名前の付いたコンポーネントプロパティにマップします。
7. [保存] をクリックします。

インポートされたHP OOフローのパラメーターマッピングで、パブリックアクションの入力プロパティが有効にならない

QCCR1D187316

問題

クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域で、コンポーネントの [オペレーション] タブにあるコンポーネントに、パブリックアクションを追加できます。パブリックアクションは HP Operations Orchestration フローからインポートされ、その後、オペレーションに対して [パラメーターマッピング] を構成できます。ただし、マーケットプレイスポータルサブスクリバがパブリックアクションの入力プロパティを指定できるように、オペレーションの [パラメーターマッピング] を正しく構成することはできません。

原因

製品の不具合です。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

HP CSAコンテンツをHP Operations Orchestrationにインポートした後にエラーが発生する

QCCR1D186958

問題

HP Operations Orchestration 9.x では、パッチとコンテンツパックが特定の順序で適用されていない場合、HP CSA コンテンツを HP Operations Orchestration にインポートした後にエラーが発生する場合があります。特に、現在パッチレベル 9.07.0000 を実行している場合、HP Operations Orchestration CP Version 13、HP Server Automation CP for HP Operations Orchestration Version 9.00.08、および HP CSA-4_10-ContentInstaller.jar をインストールした後に、特定の HP Database and Middleware Automation (HP DMA) フローがエラー状態になります。

原因

このインストール手順のシーケンスによって、HP Operations Orchestration リポジトリが破損し、「Remediate Server」オペレーションが失われます。これらのコンテンツパックをインストールする前に、まず HP Operations Orchestration patch 9.07.0008 にアップグレードする必要があります。

回避方法

次の順でパッチとコンテンツパックのインストールを実行します。

1. HP Operations Orchestration patch 9.07.0008 をインストールします。
2. HP Operations Orchestration CP Version 13 をインストールします。
3. HP Server Automation CP for OO Version 9.00.08 をインストールします。
4. CSA-4_10-ContentInstaller.jar をインストールします。

パッチレベル 9.07.0008 にアップグレードする前にこれらのコンテンツパックをインストールしたため、HP Operations Orchestration 環境がすでにエラー状態になっている場合は、次の手順を実行します。

1. HP Operations Orchestration patch 9.07.0000 をアンインストールします (パッチを削除する前に HP Operations Orchestration サービスを停止します)。

既知の問題、制限事項、回避方法

2. HP Operations Orchestration patch 9.07.0008 をインストールし、HP Operations Orchestration サービスを再起動します。
3. HP Operations Orchestration CP Version 13 を、-forceinstall コマンドを使用してインストールします。
4. HP Server Automation CP for HP Operations Orchestration Version 9.00.08 を、-forceinstall コマンドを使用してインストールします。
5. CSA-4_10-ContentInstaller.jar を、-forceinstall コマンドを使用してインストールします。

VMware vCenter

vCenterサーバーのトポロジコンポーネントのprivateKeyプロパティの値がクリアテキストで表示される QCCR1D187237

問題

vCenter サーバーのトポロジコンポーネントの **privateKey** プロパティは、**[非公開プロパティ]** として構成されていないため、このプロパティ (クラウドサービス管理コンソールの [デザイン]/[トポロジ]/[デザイナー] および [デザイン]/[トポロジ]/[コンポーネント] 領域) の値はクリアテキストで表示されます。

原因

製品の不具合です。

回避方法

このプロパティは、クラウドサービス管理コンソールで **[非公開プロパティ]** としてマークできます。[デザイン]/[トポロジ]/[コンポーネント] 領域で、vCenter サーバーコンポーネントを選択し、**[プロパティ]** タブをクリックして、**privateKey** プロパティを編集します。**[非公開プロパティ]** を選択し、**[OK]** をクリックします。

vCenterサーバーコンポーネント上の [Flex CPU] パブリックアクションがハングする QCCR1D187146

問題

vCenter サーバーコンポーネント上のパブリックアクション [Flex CPU] は、requestedCpuCount に値 0 を入力するとハングします。マーケットプレイスポータルサブスクリプションには、「変更中のサービス」というステータスが表示され、クラウドサービス管理コンソールの [オペレーション] 領域には、「変更中」というサービスインスタンスのステータスが表示されます。この状態では、サブスクリプションはキャンセルまたは削除できず、その後のパブリックアクションも起動できません。

原因

入力された値が 0 である場合、「Flex CPU」フローは「No Action Taken」ステップで終了し、HP CSA 側ではフローの完了がわかりません。

回避方法

次のいずれかを行います。

- requestedCpuCount に対して値 0 を指定しないようにします。
または
- Library/Integrations/Hewlett-Packard/Cloud Service Automation/Components/VMWARE_VCENTER/Server/04.10.0000 にある「Flex CPU」フローを、「No Action Taken」に移行するのではなく、「Error: failure」に移行するように変更します。これには、最初にフローを HP OO Studio にインポートし (CSA_HOME\Tools\ComponentTool\contentpacks\CSA-VMWARE-CP-4.10.0000.jar コンテンツパックから)、次にフローを修正して、最後に HP OO Central に発行し直す必要があります。

ご注意

©Copyright 2011-2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®および Windows®は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

OpenStack® Word Mark および Square O Design は、単独でも両方でも、OpenStack Foundation の米国およびその他の国における登録商標であり、OpenStack Foundation の許可を得て使用されています。

Oracle および Java は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

UNIX®は、The Open Group の登録商標です。

RED HAT READY™ロゴと RED HAT CERTIFIED PARTNER™ロゴは、Red Hat, Inc の商標です。

サポート

HP ソフトウェアサポート Web サイトを参照してください。

www.hp.com/go/hpsoftwaresupport

このサイトでは、HP のお客様窓口のほか、HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。HP ソフトウェアオンラインソフトウェアではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HP ソフトウェアサポート Web サイトのサポート範囲は次のとおりです。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。サポートアクセスレベルの詳細情報については、次の URL を参照してください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Passport ID を登録するには、次の Web サイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>